

2010年1月21日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫 殿  
防衛大臣 北沢 俊美 殿

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

代表世話人 石川 徹

代表世話人 塩安佳樹

代表世話人 西山勝夫

## 7 3 1 部隊関係資料等の全面公開の要請

わが国のこれからの医学・医療を考える上で、日本の医学会・医師会がかつての戦争に荷担したことや、日本の医学者・医師が戦争中に、731部隊や戦地で行った「人体実験」「生体解剖」「生体手術練習」、九大捕虜解剖事件等の非人道的行為について、自ら真摯な検証を行い、その教訓を生かすことが極めて重要です。

私たちはこの目的をもって、2009年9月27日に設立した医師・医学者を中心とする団体です（詳細は、添付の設立趣意書、本会名簿、及び末尾の本会ホームページをご参照下さい）。

さて、731部隊に関する資料は、既に公開されているアメリカの極秘資料にも記されているとおり、部隊の責任者などの免責と引き換えにアメリカに提供され、その多くが国民の目から遮断されていまだ闇の中です。

1982年4月9日の衆議院大蔵委員会での箕輪議員の731部隊に関する質問に対し、当時の鈴木善幸首相は「政府としては、こういう問題を隠蔽しようなどという考え方は毛頭ございません。何分古い、そして終戦のああいふ混乱の中でございますから、どの程度の資料が集められますか、やらしてみたい、こう思っております」と答えています。しかし、今日に至るも、731部隊に係わる資料の公開はほとんど進展していません。

その後、1986年9月に、アメリカ下院の復員軍人委員会・補償関係小委員会の公聴会で、ハッチャー国防総省記録管理部長が、「731部隊の資料が50年代後半に日本に返還されている」と証言しています。これを受けた日本の国会図書館による調査では、「731部隊に関する第1次資料は、日本へ返却後、最初、外務省復員局に渡され、その後防衛庁が設置された際、外務省から防衛庁に移され、さらに戦史室に移された」と報道されています（「朝日新聞」1986年9月19日付）。

1992年5月14日に、参議院内閣委員会で、1950年代に日本に返還されたとされる

731部隊関係資料の行方が質された際、防衛庁の畠山政府委員は、「昭和33年4月、防衛庁は米国が押収しました旧軍資料の返還を受けておりまして、現在、戦史に関する調査研究に資するために防衛研究所におきまして約4万件の資料を保管しておりますが、その中にはご指摘にございました、いわゆる731部隊活動状況を示すような資料はございません」と答えています。しかし、これは先に示したアメリカ議会でのハッチャー国防総省記録管理部長の証言に照らして不可解としか言いようがありません。

いま、わが国では初めて本格的な政権交代がなされ、これまで久しく闇の中におかれてきた「核密約」などの解明が岡田克也外務大臣の指揮で進められ、11月には日米の核密約に関する日本側の証拠文書が外務省保管資料から発見されました。さらに元外務省高官が「核密約」の存在を司法の場で初めて証言するに至りました。731部隊関連の資料も、米国防総省の当事者が「50年代後半に日本に返還している」との証言をもとに公開し、その検証を通じて得た教訓を、これからの人間の尊厳や人権を基本とする医学・医療の発展に生かすまたとない機会を迎えています。

つきましては、本会として、内閣総理大臣、並びに防衛大臣に対し、731部隊および同部隊に関わる細菌戦などのアメリカからの返還文書等の全面公開を強く要請いたします。

以上

<添付資料>

- \* 設立趣意書
- \* 本会の世話人会体制名簿

### 「戦争と医の倫理」の検証を進める会

(連絡先・事務局)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5 新宿農協会館 6F

全国保険医団体連合会 内 (担当事務局 室井 正)

TEL / 03-3375-5121

FAX / 03-3375-1862

e-mail / tadashi-mri@doc-net.or.jp

http:// AVIC.doc-net.or.jp